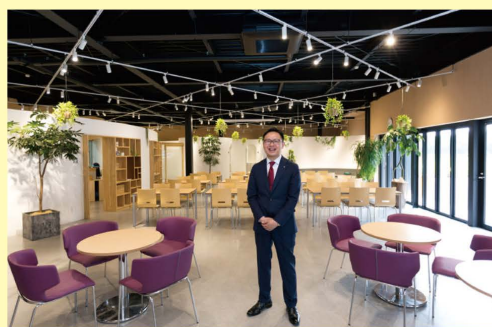


## vol.01

業界トップクラスの寝具メーカーが県内にある？  
その名は「ふとんファクトリー」！  
国内一貫生産だからこそ叶えられる  
「安眠」の秘密をご紹介します。

四国繊維販売株式会社（ふとんファクトリー）は、昭和41（1966）年の創業から今日に至るまで、全国有数の生産規模を誇りつつ、安心・安全の国内一貫生産を守り続けてきました。そのポテンシャルを最大限に活かし、今年創業55周年を迎えたふとんファクトリーの魅力とものづくりへのこだわりを、代表取締役会長の斎藤勤さんに伺いました。



—— NT 四国繊維販売株式会社はどんな会社ですか？

当社は「寝具」の企画提案から原材料の仕入れ、生産、梱包、発送に至るまで一貫して受託生産している寝具の総合メーカーです。直接、店舗で個人のお客様に販売するのではなく、量販店やふとん専門店などの企業BtoB（Business to Businessの略）に卸していますが、個人のお客様には通信販売も行っています。

—— NT 取り扱っている商品を教えてください。

羽毛ふとん、羊毛ふとん、掛けふとん、敷ふとん、こたつふとん、ベッドパッドなどの

あらゆる寝具全般です。

—— NT 寝具を一貫生産している企業は多いのでしょうか。

寝具商品を企画製造して卸売りまで一貫してできる会社は、国内では少なくなりました。この業界は、昔から役割を分担し流れ作業型の工場で製造することが多かったのです。例えば、繊維の町としてジーンズで有名な倉敷市児島では、うちは縫製だけ、キルトするだけといったように、各パーツが工場から工場を渡り歩いて一つの商品が完成します。寝具でも同様の生産方法をとってきたところが多く、一社で一貫して生産することはあまり行っていないかもしれません。

## PROFILE

四国繊維販売株式会社  
代表取締役会長  
斎藤 勤さん



—— NT 消費者のニーズにいち早く対応？

当社のこだわりは「健康品質」です。近年は、消費者の健康志向への意識が高まるとともに、衣食住の変化に伴い、「国産」「ジャパンブランド」というワードに敏感になっているような気がします。当社ではさまざまな変化に対応するべく、健康志向にうまくマッチした商品を、我々自身の手で納得がいくまで試行錯誤を繰り返してお作りして皆様にお届することを信条としています。

—— NT 国内で製造するメリットは？

平成に入り日本の寝具製造業の多くは中国へ工場を移しましたが、中国の市場成長に伴う人件費の高騰や、昨年から長引くコロナの感染拡大の影響で、海外に工場を置くメリットが薄れてきたように思います。

当社は、卸問屋であった1966年の創業時代から地元香川に根づいて、布団の製造を続けてきました。我々はお客様と直接お取引する中で、長い年月をかけてノウハウを蓄積し、企画提案から製造、販売までできる工場に成長しました。今なお多くのご注文があるのも、売り場と直結した「スピード力」が実績と信頼を築いたからであり、これは国内製造だからこそだと思えます。

—— NT 御社の強みは何ですか？



当社の強みは、「スピード」「スケール」「サプライチェーン」です。この3つを略して「3S」と呼んでいます。一つ目の「スピード」は、誰よりもより早くお客様のリクエストにお応えしようと思っています。

「BioC」(Business to Consumerの略)になっても安定したクオリティの商品をより多くご提供できるような目指すことで最後の「サプライチェーン」は、現在サプライチェーンマネジメントという部署があり、「欲しいときに欲しいだけの数の商品をお客様のお手元までお届けします」ということです。この3つのSを活かし前面に出して頑張っています。更に昨年から「サポート」を加え、厳しい時こそサポートを心掛けて、お客様に寄り添い、お互いに支え合うことに注力しています。

—— NT 御社ならではの商品のこだわりは？

当社の製品では、「機能性に長けている」と評価されることに強いこだわりを持っています。例えば、抗菌・防臭・抗ウィルスという機能性豊かな商品を目指しています。布団を商品開発する前には、目指す商品に応じた素材の開発をしないとダメです。例えば、夏にお薦



めのサッカー生地を商品化するには、その生地合った糸を開発しなければなりません。うちは素材に始まり一から作るという、めんどろな仕事が大得意なものです。そこが、他者様との差別化が図れるところでありこだわりなのです。

—— NT 経営で大切にしていることは？

コミュニケーションですね。コミュニケーションがあれば大概のことが解決します。例えば我々社員同士、仕入れ先、商品を購入していただいている消費者の方々。そして金融機関。そういったところとのコミュニケーションが取れていけば、成績が悪ければ率直に話をして改善方法を探れますし、良い時は何がどう良かったのかを正確に伝えなければなりませんと思います。人は会話をしたり相談したりすることで少しでも気持ちも落ち着くものなので、社内外に関わらず仕事のなかではコミュニケーションこそ一番大事だと思います。

—— NT 今後の挑戦していきたいことは何ですか？

当社はお客様に寄り添いながら、さまざまなものをご提供するなかで、新しいビジネスにも挑戦していきます。まず注力しているのが、DocDirect to Consumerの略です。当社が企画、製造した商品を小売店舗や中間業者を介さずに、当社のサイトで直接お客様に販売します。と同時にそれらを成功させる要因には3つあります。お客様の声を積極的に取り入れて研究開発すること、次に社員の教育、そして広告宣伝です。これらを着実に軌道に乗せて100年企業を目指します。

—— NT 今取材させていただいているこのスペース「いこい」は、どんな空間か教えてください。

今年で開設2年目を迎えたコミュニケーションルームです。目的は社員のモチベーションを上げるためにつくりました。ここが出来たことにより、お昼ご飯を食べに来たり、休憩したり、イベントの相談をしたりと使い方はさまざまです。オープンキッチンやライブラリーなども併設しており、リラックスして過ごせるのが最大の特徴です。

定期イベントとしては、毎週末曜日は「パン日」とし、一の宮にある「パン屋アール・ヌーボー」さんをお願いをして、美味しい焼き立てパンをもって来ていただき、販売をおこなっています。大好評なんです。また、毎月の第一金曜日には誕生日会を開催。ケーキをプレゼントして盛大にお祝いするなど有意義な時間を過ごせます。そうすることで、社員同士の絆も深まり、働きやすい環境創出の一歩を担っています。





＼ わたしたち こんな事もやっています！

みなさ〜ん  
お誕生日おめでとうございます!!

### お誕生日会の開催

全員参加型経営を目指す中で、みんなが参加しやすく、楽しいイベントはないかを考えた時に、みんな誕生日はあるのでそれなら必ず全員が一度は参加してくれるだろうという思いで、2020年1月からこの誕生日会を始めました。今では社員全員が「自分の誕生日月に「ルーヴ」のケーキが貰える!」のを楽しみにしてくれています。

ゆっくり、楽しく自然を満喫しています

### われら登山部

仕事だけにかかわらず、ひとつの目標に向かってみんなで一緒に頑張れることは何かと考えたときに、「そうだ!登山部を作ろう!」と、現隊長の勝手気ままな発想の中で立ち上がった登山部。

日常から離れ、全身で自然を感じながら、一緒に頂上に登った時の達成感最高。最初は小さな里山からスタートして、最終目標はみんなで富士山に登ることです。入部者も当初は8人でしたが、今では何と20人にまで増えています。まだまだ募集中です。

様々なSNSを発信しています!ぜひ私たちを見てください!!

 futon\_factory1966



 @futonfactory\_55



ふとんファクトリー 55周年感謝祭

# 倉庫大開放セール開催!!

10月30日(土) 9:00~16:00

**会場** 四国繊維販売株式会社  
高松市香川町大野2134番地6

＼お買い得商品満載!／

#### お楽しみイベント

一宮の美味しいパン屋さん「パン屋アール・ヌーボーさん」とふとんファクトリーとの、この日だけのオリジナルコラボパンを販売致します!

#### ご来場プレゼント

先着500名様に「オリジナルタオル」または「オリジナルタンブラー」どちらか好きな方をプレゼント!



※写真はイメージです

詳しくは次号11月号にて!